

設計ガイド（家具設計のためのスライド丁番選択のチェックポイント）

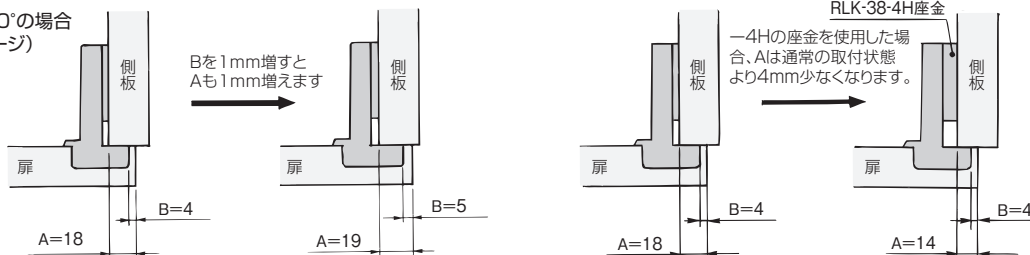
「扉のかぶせ代」の設定

扉のかぶせ代Aを各製品紹介ページの「かぶせタイプはみ出し寸法表」から決定してください。

●「扉のかぶせ代A」は「扉端よりカップ掘込み穴端部までの距離B」の決め方によって決まります。

●座金品番の末尾に「□H」の付いている座金を用いることにより、□mmの寸法だけ扉のかぶせ代Aを少なくできます。

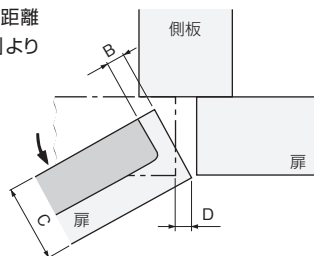
例：CRT100°の場合
(473ページ)



「丁番側はみ出し寸法」の求め方

「丁番側はみ出し寸法D」とは、開扉時に吊元側コーナーが、閉時の扉納まり位置よりはみ出す寸法を示します。

濃グレー・薄グレー 内に表記されている数値が「丁番側はみ出し寸法D」ですので、「扉厚C」・「扉端よりカップ掘込み穴端部までの距離B」をもとに「はみ出し寸法表」より求めてください。

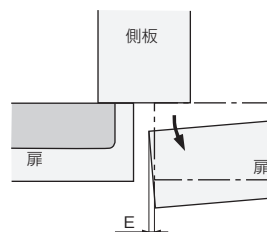


●扉の吊元側コーナーを加工しますと、丁番側はみ出し寸法Dは表の数値より減少します。
(詳しくは弊社までお問い合わせください)

※製品紹介ページでは、濃グレーはグレー、薄グレーは水色です。

「扉先端はみ出し寸法表」の見方

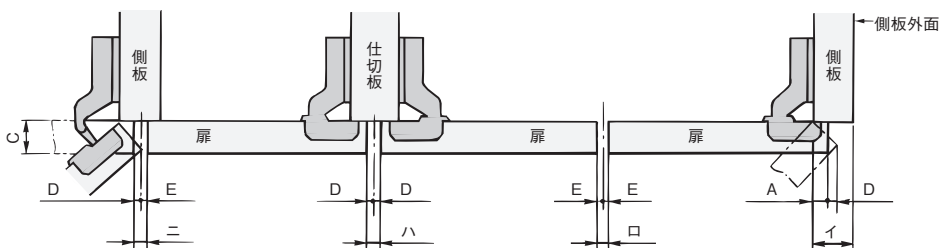
「扉先端部のはみ出し寸法E」は、開扉時に扉先端部が、閉時の扉納まり位置よりはみ出す寸法を示します。



「かぶせタイプの各部隙間寸法」の求め方

スライド丁番を使用して扉を開閉させるためには、下図イ・ロ・ハ・ニの隙間をとってください。

表より丁番側はみ出し寸法D・開き側扉先端部のはみ出し寸法Eを求め、下式に当てはめてください。



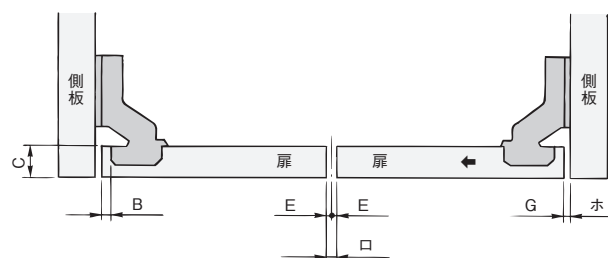
イの場合… $イ > A + D$
(扉が開く時、扉の吊元側コーナーを側板外面よりはみ出したい場合)
ロの隙間… $ロ > E \times 2$
ハの隙間… $ハ > D \times 2$
ニの隙間… $ニ > D + E$

●かぶせタイプは、はみ出し寸法表の薄グレー範囲内でご使用の場合、次ページをご参照ください。

「インセットタイプの各部隙間寸法」の求め方

扉を開閉させるためには、下図ロ・ホの隙間をとってください。

表より「扉先端部のはみ出し寸法E」・「丁番側ちり寸法G」を求め、下式にあてはめてください。



ロの隙間… $ロ > E \times 2$
ホの隙間… $ホ > G$

インセットタイプちり寸法表の薄グレー範囲内でご使用の場合は、薄グレー内に表記されている「丁番ちり寸法G」を確保できるよう、丁番の左右調整ねじを用いて扉を矢印の方向へ調整する必要があります。

ご注意

表の各データは、木材加工の強度や扉のたれ下りなどは考慮に入れていませんので、実際にはイ・ロ・ハ・ニの寸法は少し大きめにとってください。扉の取付けや調整が容易になります。

開き戸 金具	1
引戸 金具	2
上吊式 引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動 間仕切 金具	5
室内用 アルミ 金具	6
折戸 金具	7
取手・ 引手	8
スライド 丁番	9
スライド ワイヤー バスケット	10
収納・ 吊金具	11
その他の 家具金物	12
物干金具・ 諸金具	13
設計 施工 ガイド	
会社案内	